報　告

# 第61回粘土科学討論会（富山大会）

高木哲一*・高橋範行**・福士圭介***・丸茂克美****・渡邊雄二郎*****

*国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター地圏資源環境研究部門
〒305–8567 茨城県つくば市東1–1–1　中央第7
**水澤化学工業株式会社
〒959–2638 新潟県胎内市水沢町1–1
***金沢大学環日本海域環境研究センター
〒920–1192 石川県金沢市角間町
****富山大学大学院理工学研究部
〒920–1192 富山県富山市五福3190
*****法政大学生命科学部
〒184–8584 東京都小金井市梶野町3–7–2

第61回粘土科学討論会（富山大会）は，平成29年9月25日から9月27日の3日間，富山大学五福キャンパスの共通教育棟を講演会場として行われた．学会誘致に熱心な富山県では，討論会開催前の9月初旬から第61回粘土科学討論会の開催を紹介するポスターが街中に掲示されていた（写真1）．

討論会では特別講演1件及びシンポジウム4件，口頭発表48件，ポスター発表33件，合計86件の講演が行われた．講演会への参加登録者数は合計148名であり，内訳は正会員97名，シニア会員1名，共催学会員6名，学生会員18名，一般非会員9名，学生非会員16名であった．

討論会前日の9月24日の午後1時30分から18時30分までは粘土科学若手の会が開催され，口頭発表とポスター発表が行われた．討論会初日は共通教育棟玄関ホールにおいて9時から受付を開始し，9時30分からA会場（A21号室）とB会場（A23号室）において一般講演が行われた．11時30分からはC11号室において八田珠郎会長を議長として総会が行われた．会場入り口では出席者数を正確に把握するため，討論会参加者の名簿を用いたチェックが行われた．総会ではすべての議案が提案通りに採択された．

総会終了後，各賞の授賞式が行われ，八田珠郎会長から賞状と記念品が手渡された．平成29年度の各賞の受賞者は次の通りであった．学会賞：川俣純会員，技術賞：田谷野孝夫会員，村田昌英会員，内野英史会員，寒河江竹弘会員，論文賞：安楽総太郎会員，松原勇武会員，森本和也会員，佐藤努会員．

13時30分からは特別講演及びシンポジウムが開催された．特別講演は富山県立イタイイタイ病資料館の鏡森定信館長による「イタイイタイ病から見たカドミウムに関する環境汚染と対策」である（写真2）．シンポジウムは「粘土鉱物と有機高分子〜」をテーマとして行われたが，詳細はシンポジウムの紹介を読んでいただきたい．

シンポジウム終了後，JR富山駅に直結した富山地鉄ホテル11階アルシェフにおいて午後6時30分から懇親会が行われた．参加者は当日申し込みを含めて89名であった．懇親会は丸茂克美実行委員長の司会のもとで進行した．

写真1　討論会を紹介する駅のポスター

写真2　鏡森館長の特別講演

写真3　坂本尚史名誉会員による乾杯

写真4　(株)鍵主工業珪藻土採掘場の見学

懇親会は八田珠郎会長の挨拶に続いて，坂本尚史名誉会員の乾杯をもって開かれた（写真3）．富山県は日本酒が有名なため，懇親会では利酒大会が開催された．

9月26日の討論会2日目の9時から11時45分までは，A会場（A21号室）とB会場（A23号室）において一般講演が行われた．昼食をはさんで13時から14時30分までC会場（D21）においてポスター発表が行われた．その後，14時30分から16時まで，再びA会場（A21号室）とB会場（A23号室）において一般講演が行われた．

3日目の9月27日には能登半島珪藻土コースの見学会が高木実行委員と福士実行委員の案内で開催された．案内者を含めて24名が参加し，大型バス1台にて七尾市のイソライト珪藻土記念館，珠洲市の見附島，株式会社鍵主工業の珪藻土採掘場（写真4）および七輪・断熱レンガの工場を見学した．